



2024年9月18日

各 位

会社名 UNBANKED 株式会社
代表者名 代表取締役社長 安達 哲也
(コード：8746 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 七條 利明
電話番号 03-6456-2670(代表)

(訂正) 「金の価格と連動する暗号資産に関するパートナーシップ契約締結に関するお知らせ」
の一部訂正について

本日12時に開示いたしました「金の価格と連動する暗号資産に関するパートナーシップ契約締結に関するお知らせ」について、掲載ページ順を訂正し、再掲載いたします。ロードマップが2ページに掲載されておりましたが、最終ページへ移動いたしました。なお、内容に変更はございません。

以 上



2024年9月18日

各 位

会社名 UNBANKED 株式会社
代表者名 代表取締役社長 安達 哲也
(コード：8746 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 七條 利明
電話番号 03-6456-2670(代表)

金の価格と連動する暗号資産に関するパートナーシップ契約締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、金の価格と連動する暗号資産「Kinka」（ティッカーシンボル：XNK）の販路拡大を目的に、新たなブロックチェーン上でXNKを発行・流通させるため、海外子会社「Kinka(BVI),Ltd.」（以下、「Kinka社」といいます。）とCardanoブロックチェーン創設企業「EMURGO FINTECH INC.」（以下、「エマーゴ社」といいます。）との間でパートナーシップ契約を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 海外子会社の概要

(1)	名称	Kinka(BVI),Ltd.
(2)	所在地	Craigmuir Chambers, Road Town, Tortola VG1110, British Virgin Islands
(3)	代表者の役職・氏名	役職：取締役 氏名：七條 利明
(4)	事業内容	暗号資産の生成・発行及び販売
(5)	資本金	10,000米ドル

2. 契約相手と契約の概要

(1)	名称	EMURGO FINTECH INC. 公式webサイト： https://www.emurgo.io/fintech/
(2)	所在地	251 Little Falls Drive, Wilmington, Delaware 19808, USA
(3)	代表者の役職・氏名	役職：Managing Director 氏名：Vineeth Bhuvanagiri
(4)	事業内容	Cardano（カルダノ）ブロックチェーンの創設企業として独自の価値を創出し、同ブロックチェーン上に構築されたWeb3製品、サービス、ソリューションを提供することで人々の生活を向上させ、世界をより良い方向に変えるための支援活動を展開。
(5)	資本金	500,000米ドル
(6)	設立年月日	2022年9月25日

(7)	大株主及び持株比率	Emurgo Group PTE. LTD. (100%)	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。
※当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態につきましては、契約相手から情報を入手できていないため、記載しておりません。			
(9)	契約の概要	契約締結予定日：2024年9月18日 ・カルダノブロックチェーン上でXNKをMint（発行）・Burn（焼却）するためのシステム開発とその後の定期的なメンテナンス及び運用サポート業務をKinka社がエマーゴ社に委託。 ・XNKの販促をサポートするため、カルダノエコシステム（経済圏）内の各種サービス提供パートナー、マーケットメイカーをエマーゴ社がKinka社に紹介。	

3. これまでの取り組みと今後の計画について

金の価格と連動する暗号資産「Kinka」（ティッカーシンボル：XNK）に関するこれまでの取り組みと今後の計画については、以下の通りです。概要は別紙「ロードマップ」をご参照ください。

Phase-1：暗号資産「Kinka」の開発と初期ローンチ

・イーサリアムブロックチェーン上で稼働するトークンの標準規格「ERC-20」で金を裏付けとした「Kinka」を発行し、投資家保護の仕組みも同時に構築。

2022.04：「株式会社テコテック」と基本合意締結

2022.05：「株式会社テコテック」と業務委託基本契約、
システム開発業務等個別契約を締結

2022.08：システムテストの完了及びCERTIK社によるコード監査終了

2022.10：取引プラットフォームでの顧客受入れ体制の完了

2022.11：海外子会社「Kinka(BVI),Ltd.」を設立

投資家保護の仕組みを作るために以下の国内2法人を設立

（一般社団法人ゴールド基金、合同会社ゴールド・マネジメント）

「Kinka」のサービスサイトをオープン

2022.12：海外倉庫会社と金地金保管契約を締結

暗号資産「Kinka」の初期ローンチ

2023.01：イーサリアム（ETH）を対価として「Kinka」の販売を開始

2023.08：第三者機関が裏付け資産の金の保管状況を現地倉庫にて確認

2023.12：「Kinka」のティッカーシンボルを“KNK”から“XNK”に変更

Phase-2：中央集権型取引プラットフォーム（CEX）※1へのリスティングと市場テスト

- ・XNKをいつでも売買できる環境を、まずは中小のCEXで整備し、販路を拡大。
- ・XNKに対する暗号資産投資家の関心と信頼性をテスト。

※1：CEXとは、「Centralized Exchange」の略で、企業や組織が運営を担い、投資家の売り注文と買い注文をオーダーブック（板注文）形式でマッチングさせる取引プラットフォームのこと。

2023.12：海外マーケットメイカー（MM）と業務提携

2024.02：海外CEX「CoinW Exchange」にリスティング

2024.03：海外CEX「BitMart」にリスティング

2024.04：海外CEX「MEXC」にリスティング

2024.05：海外MMが自己資金にて分散型取引プラットフォーム（DEX）※2の

「Uniswap」で試験運用※3

※2：DEXとは、「Decentralized Exchange」の略で、ブロックチェーン技術を活用したスマートコントラクト（契約から取引の実行まで自動化されたプログラム）によって、管理者が介在することなくユーザー同士が暗号資産の取引を直接行うことができるプラットフォームのこと。

※3：XNKとUSDT（米ドル連動型の暗号資産）のペアで投資家が売買できるように流動性を供給し、DEXとCEX間の裁定取引が可能かを検証するために少額資金で実施。

Phase-3：販路拡大のため、カルダノブロックチェーン上でXNKを発行

・カルダノブロックチェーンの世界的な普及を目指すエマーゴ社と提携し、同ブロックチェーン初の金現物裏付け型の暗号資産を発行します。そして、大規模なカルダノコミュニティ（約360万人のカルダノ（ティックカーシンボル：ADA）保有者、13万人以上のSNSフォロワー、その他カルダノイベント参加者等）をターゲットに金投資の魅力（インフレヘッジ機能、自国通貨安対策、ポートフォリオのリスク分散効果等）をアピールし、安全資産を求めるカルダノユーザーの潜在需要を喚起することで、XNKの販売強化を図ります。なお、カルダノブロックチェーン上で発行されるXNKにおきましても、日本の居住者は販売対象としておりません。



2024.09 : エマーゴ社とパートナーシップ契約を締結

- ・カルダノブロックチェーン上でXNKをMint（発行）・Burn（焼却）するためのシステム開発をエマーゴ社に委託。
- ・エマーゴ社から、カルダノエコシステム（経済圏）内の各種サービス提供パートナーとマーケットメイカーの紹介を受け、XNKの販売体制を構築。

2024.10 : カルダノサミット（本年は10月23～24日にかけてドバイで開催）において、XNKのリリース予定を発表（予定）。

<https://summit.cardano.org/>

2024.12 : MVP（Minimum Viable Product）※4による初期ローンチ（予定）

50万米ドル相当の「ERC-20 : XNK」をBurn（焼却）して発行残高を減らし、「カルダノブロックチェーン : XNK」を同等量Mint（発行）。

※4 : 顧客ニーズを満たす最小限のサービスをまずは早急に提供し、その後得られたフィードバックを基に新機能の追加や改善を繰り返し、完成度を高めていく開発手法。

<カルダノブロックチェーンの採用理由>

既存のメジャーなブロックチェーンは、①「スケーラビリティ（処理速度の遅延）」、②「相互運用性」、③「サステナビリティ（持続可能性）」という問題を抱えていました。その問題を解決するために開発されたのがカルダノブロックチェーンであり、同ブロックチェーンではカルダノ以外のトークンも、単純な送受信などにおいてはスマートコントラクト※5が不要なネイティブトークン※6として発行できます。

イーサリアムブロックチェーン上で発行されるERC-20トークン（現在のXNK）はネイティブトークンではなく、すべての取引がスマートコントラクトを介して実現されるため、ネイティブトークンよりもコスト（手数料）が高く、コントラクトの実装によってはネイティブトークンにはないセキュリティ上のリスクが発生する場合があります。

また、カルダノブロックチェーンの消費電力はビットコインブロックチェーンの約0.01%であり、環境に最も優しいブロックチェーンの1つです。また、2017年のローンチ以降、重大なハッキングやシステムダウンは一度もありません。

※5 : 契約から取引の実行まで自動化されたプログラム。

※6 : ネイティブトークンとは、特定のブロックチェーン上で発行され、そのエコシステム内で取引手数料の支払い等に使用されるトークン。例として、ビットコインブロックチェーンのネイティブトークン（ティッカーシンボル、以下同様）は「BTC」、イーサリアムブロックチェーンのネイティブトークンは「ETH」、カルダノブロックチェーンのネイティブトークンは「ADA」。

Phase-4 : XNKの需要創出に向け、新たなサービスの開発

2025年以降、XNKの新たなサービスを開発するため、パートナーシップを模索します。

＜検討中のサービス＞

①XNKレンディングサービス

XNKを貸し出すことで、XNKで貸出料が得られるサービスです。金利が付かないゴールドの弱点を克服し、画期的な金投資サービスの提供を目指します。

②XNK担保融資サービス

XNKを担保に暗号資産または法定通貨を融資するサービスです。100%金地金で裏付けされた担保価値の高いXNKならではのサービスの提供を目指します。

4. 今後の業績に与える影響について

今回の契約締結における連結業績への影響につきましては、カルダノブロックチェーン上で「金現物担保型の暗号資産」の発行実績がこれまでになく、XNKに対するカルダノユーザーの関心度合いや需要量を合理的に見積もることが極めて困難であることから、今後の進捗状況によって公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上



Phase 01

暗号資産「Kinka」の開発と初期ローンチ

イーサリアムブロックチェーン上で稼働するトークンの標準規格「ERC-20」で金を裏付けとした「Kinka」を発行し、投資家保護の仕組みも同時に構築。

「Kinka」のティッカーシンボルを「KNK」から「XNK」に変更

2023.12

2023.01

「Kinka」の販売を開始

2022.12

暗号資産「Kinka」の初期ローンチ



Phase 02

CEXへのリスティングと市場テスト

- ・XNKの流動性を創出し、販路を拡大。
- ・XNKに対する暗号資産投資家の関心と信頼性をテスト。

海外マーケットメイカー（MM）と業務提携

2023.12

2024.02/03/04

海外3CEXにリスティング

- CoinW Exchange (2024.02.19)



- BitMart (2024.03.07)



- MEXC (2024.04.16)



海外MMが自己資金にて分散型取引プラットフォーム（DEX）の「Uniswap」で試験運用

2024.05

2024.09

エマーゴ社とパートナーシップ契約



2024.10

カルダノサミット2024において、XNKのリリース予定を発表（予定）。



2024.12

MVP (Minimum Viable Product) による初期ローンチ（予定）
50万米ドル相当の「ERC-20: XNK」をBurn（焼却）して発行残高を減らし、「カルダノブロックチェーン: XNK」を同等量Mint（発行）。

2025-



Phase 04

XNKの需要創出に向け新たなサービスの開発

2025年以降、XNKの新たなサービスを開発するため、パートナーシップを模索します。

検討中のサービス

① XNKレンディングサービス

XNKを貸し出すことで、XNKで貸出料が得られるサービスです。金利が付かないゴールドの弱点を克服し、画期的な金投資サービスの提供を目指します。

② XNK担保融資サービス

XNKを担保に暗号資産または法定通貨を融資するサービスです。100%金地金で裏付けされた担保価値の高いXNKならではのサービスの提供を目指します。

Phase 03

販路拡大のためカルダノブロックチェーン上でXNKを発行



カルダノブロックチェーンの世界的な普及を目指すエマーゴ社と提携し、同ブロックチェーン初の金現物裏付け型の暗号資産を発行。そして、大規模なカルダノコミュニティをターゲットにXNKの販売強化を図る。

※カルダノブロックチェーン上で発行されるXNKにおきましても、日本の居住者は販売対象としておりません。